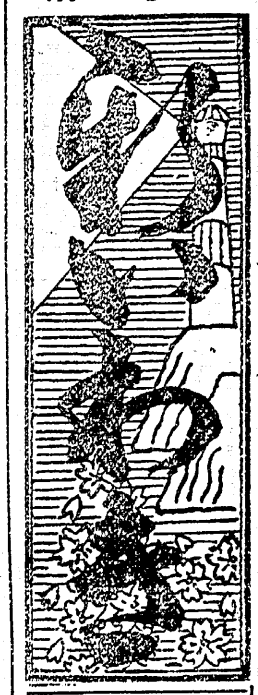
（明和五年三月廿一日第三種郵便物認可）　昭和十五年四月二十八日　いわき新聞　【日曜日】　郵二千八百九十九號　【一】

四月二十七日　夕刊



毎日夕刊●但し日曜祭日・祝日休刊
一部　一ヶ月　二十五錢
一部二錢
一ヶ月　一行四十錢
二十錢
廣告料　番号指定　二行四十錢
二十錢
発行人兼印刷人　牛谷政喜
発行所　福島縣平市大町二十三番地
新いわき新聞社

入學志望募集中の縣立平工業學校

募集人員その他學費まで

縣立平工業學校は來る五月十五日から開校に決し同月十日十一日の兩日入學考査を行ふものに對し五月六日限り志願書を取つて居り入學許可の發表は十二日の筈である、募集人員は電氣科四十名、採鑛冶金科三十名（三ヶ年修業）入學資格は何れも十四歳以上の男子で高等小學卒業若くは之と同等以上の學力を有するもの同校の目的は云ふまでもない工業學校規程により工業に從事せんとする者に必要なる教育を施し卒業者は中學卒と同じく各種上級校に入學することを得るのみならず無試驗にて判任官また技術官となれる出願手續は一般と同樣でたゞ第二志望ある場合その科名を入れるだけが異ふ、授業料は一ヶ月三圓卅錢、校友會費五十錢、修旅貯金一圓、入學初めの教科書は約廿圓ぐらゐ外に入學寄附金一圓五十錢以上を要することになつてゐる

照會者だけで既に百余名

平工業校の開校に來る五月十五日から開校の縣立平工業學校は別項の如く志願者を募集中であるが右に對して先きに照會を求めたるもの平市役所へ四十餘名、縣へは五十餘名を算へてゐるので七十名の定員（電氣科四十名採鑛冶金科三十名）に對し少くも百名を超える出願を見るものと語られてゐる

愈よ掃立近い春蠶

片倉では十萬グラム

收繭七万五千貫出廻六月中旬

相場豫想八十五掛位か

平市片倉製糸の特約養蠶組合二百十七組五千九百戸に於ける今春蠶の掃立ては早場の小川、大浦方面は五月九日頃から盛掃期は同月十五日前後づゝと遅いもので石城郡川前村の桶賣その他山間部落は三十日頃までに及ぶが總蟻量は昨年と略ぼ同樣の十萬二百グラム收繭七萬五千貫（十グラム當八貫弱）を見込んでゐる桑葉の狀況は目下のところ順調だが今年の天候には尠なからず霜害が氣遣はれ尙ほ肥料は會社から昨年と同量の配給を受けてゐるが其れが果して桑園のみに使はれてゐるかどうか疑問とされ加里肥の補給は講習會を以て指導した德重篤が殆んど全部に設けられ燒土法も勵行されてゐる、繭の出廻りは六月十七、八日頃而して相場の豫想は八十五掛位を至當視され居るも或は九十掛とせば十四匁に見て百廿六圓の繭となり春夏秋蠶で一反歩の收桑から十二貫目を上ぐれば百五十一圓廿錢であるから桑園肥が七、八圓で濟むのと現金回收が數回になつてゐるのとで反當卅圓を超ゆる施肥と耕作の手數及び播種後半ケ年餘で現金を見る煙草よりは利益だらうと語られてゐる

戰地の便り（下）

一ケ月平均廿數回

匪賊の合擊を行ふ

北支派遣瀬川部隊　藤井勇

これに對し日軍は各要地々々に兵力を駐屯せしめ相互に無電、有線、自動車道を建設し彼此互に連絡を密にし相協力して一地區に合擊する如く努め各地より日軍○名內外にて出動當にこれを攻擊し月平均二十數回を反覆實施致し居り候、先づ現況を以てせば本年內には匪影を沒し去る事と豫想致し居り候、日軍一般の狀況匪賊地帶に對しては右の如く各部隊相協力して時に大討伐を實施し遂次その地域を縮小し遂次兵力を分駐せしめ彼れ等の生活、行動地區を壓縮し一方歸順工作と合せ進み民心を把握することに努め、明朗圈を擴大致し居り候、然し相變らず○○○の爲め目下私の隊にては一方○○○○を實施中につき一分山地の兵力は○○○名より○○○名にて一地を固守する外、時に合擊の爲め出動致し居候、この點は御安神願上候、以上現地の一端を申述べ候、尙ほ小生も別條なく不充分ながら自己の任務に專念致し居り身体も至極健全、時には運動の爲め「テニス」位を致し樂しみ申候、頂戴いたしたる羽子板も早速利用致し面白くおかしく舍前にて飛び廻り居り候、先は御禮申述べたく御校の益々御隆盛を祈り上候、諸姉御一同に宜敷御傳へ願上候早々

軍人遺家族慰安

三曲演奏會曲目

平市野音久會主催の應召軍人遺家族慰安三曲演奏會が來廿八日午後十二時半開演で市公會堂に催されることは既報したが曲目左記の如くである

▲六段、童曲さくら、同日本陸軍の歌、松上の鶴、三つの景色、鐘ケ岬、童曲かつらくらべ、晒、新高砂、白の壁、童曲チュン〳〵雀、同軒の雨だれ、同旅愁、四季の眺、新曲峠の時雨、松風千鳥の曲、けしの花、童曲お猿のお顏、御山獅子、新曲叱られて、根引の松、

櫻花期の驛の乘降者

十三日間に十五萬人

最高は警防聯檢と縣社の宵祭

昨年より一萬二千余多い

三日見ぬ間の櫻は咲きにも散るにも同樣で數日前まで人を誘つた平市松ケ岡公園の櫻花は最終の賑はひかと云はれた去る廿一日の日曜を無情の降雨で寂しき終りとなり日一日と新芽の綠りを濃やかにして來た、過ぐる花見の模樣を遡ぎながら顧みて云へば十日の忠魂祭が其の緖口で其の筋からお達しのあつた戰時下の自肅は例年の樣な殷賑は一日も見られず最盛の賑はひは平署管下警防團の聯合檢閱があつた十七日の縣社子鍬倉の宵祭りは平驛の乘降者だけで二萬百八十一人（乘一〇二八九降九八九二）それも昨年同日の二萬五百六十一人よりは少なく前記十日から櫻花の愈よ終りとなつた廿二日までの乘降を昨年に比較すると次の如く今年は一般旅客が增加してゐるので二萬二千六百二十一人多い

▲本年乘降一五一〇六三人（乘七六一一四降七四九六九）昨年一二八四四二人（乘六〇七三四降六七七〇八）

所得申告書の注意（上）

平稅務署

改正の所得稅法による所得金額（分類所得）申告書は來る三十日限り稅務署に提出することになつてゐるが同法に規定されるものは次の如くである

（一）不動產所得、不動產所得とは不動產、不動產上の權利又は船舶の貸付に因る所得（例へば田畑の貸付、貸地貸家等）を指すのであつて二百五十圓の免稅點があるが免稅點の分界は戶主及其の同居家族（戶主と別居する二人以上同居家族に付亦同じ）分は合算したるものに依ることになつてゐる

（二）乙種配當利子所得、乙種配當利子所得とは營業に非ざる貸金の利子並に本法施行地外で支拂を受くる公債、社債又は預金利子、合同運用信託の利益及法人より受くる利益若は利息の配當又は剩餘金の分配を指すのであつて百圓の免稅點があるのであるが免稅點の分界に付ては不動產所得同樣戶主及其の同居家族（戶主と別居する二人以上の同居家族に付亦同じ）分は合算したるものに依ることになつてゐる、

（三）事業所得、事業所得甲種と乙種とに分れてゐるが甲種とは元の營業收益稅法で營業稅を課せられてゐた物品販賣等の外に今回新に追加せられた興替業、演劇興行、寄席業、遊戲場業、遊覽所業、藝妓置屋業、貸座敷業の營業に對する所得であつて又乙種とは農業、畜產業水產業の所得、醫師、辯護士等の所得、其の他の種目に屬せざる總ての所得を指すが共に五百圓の基礎控除がある、併し基礎控除の總額は戶主及其の同居家族（戶主と別居する二人以上の同居家族に付亦同じ）分を通じ五百圓を超ゆることが出來ないことになつてゐる、

（四）乙種勤勞所得、乙種勤勞所得とは甲種（源泉に於て課稅を受くるもの）に屬しない俸給給料、歲費、費用辨償、年金、恩給（一時金たる恩給を除く）及賞與並に此等の性質を期する給與を指すもので七百廿圓の基礎控除がある。

スクラップブックより

隣縣に劣る本縣の漁業

（2）漁港築設の急務

本縣の海產高は小名濱を筆頭として年產今や一千萬圓を越えんとしてゐる、この隆盛は一にかゝつて漁港の築設にある、その漁港は今から約三十年前の昔は小名濱にすら出來てゐなかつた、其の頃私は「福島日日」に居つた、左に掲ぐるものは標題と共に當時の私が書いた其まゝのもの、その頃の一端を窺はれるものがあらう……牛谷生

いま將に期節に臨み豐漁を上げんとしてゐる鰹漁の如き實に遂く百海里以上の漁場に出動することによつて漸く漁獲されつゝあるものにして之れに用ふる發動機船は少なくも十五馬力以上にあらざれば所期の漁獲に安全を許し得ざるばかりでなく斯の如く洋上遠き漁場に至れば隣縣各濱と目的海區を同じうするを以て船体の大なる、

◇船備の整へる

進歩したる漁船には遺憾ながら敗を取らざるを得ないことは云ふまでもない、しからば本縣漁家も他に競つて大なる漁船を建造せんかと云へば完全なる船着場に乏しく現在の漁船が既に其の碇泊に惱みつゝある有樣にして到底不可能に屬する止むを得ざる窮境にあるのである、此の間にある隣縣の宮城は塩釜あり、石の卷あり、荻の濱、相川、女川、志津川、汽仙沼等天與の良港を有し、茨城には牛人工の平潟あり湊町には、

◇運河式に成る

築港を有するもの等ます〳〵漁船の改造に努め大船の新造を慾にし本縣は恰も此の兩攻擊を受けつゝあるの現狀である

支那單語

牛乳を入れませうかと云ふ事をトイニューチイマ、私には砂糖を入れてくれはケーウオコーバイタン、私は冷たい水を一杯飲みたいならウオシアンホーイーペーリアンカイシユイ

農業欄

耕季に臨み 春肥の見透

（下）

無機質は切拔けても樂觀出來ない有機質

この大豆の輸入量の減少は直ちにこれを原料とする醬油味噌製造業者に影響が大きく是れ等の當業者は大豆粕への原料轉換をはじめる、これとともに包米、高粱の輸入杜絶からの家畜飼料不足の餘波は急場しのぎにこの大豆粕獲得に殺到する、

【以上】の如き諸現象がいくつもの波となつふ大豆粕に集中する結果は、前年より二倍の多量を入れたるに拘はらず肥料としての大豆粕量を善ひ渡してしまふことになり、かて〻加へて今後の輸入にも期待をかけられない實狀を生んでしまつた、農林省から係官が滿州へ出張して今後の買入れについて實地調査を遂げたとも云はれるが前記の大勢好轉には多くの期待は難かしいやうである、

【豆粕】が以上の如くであるかぎり殘されたる頼みの綱はしぼり粕（鰯〆粕）であるがこれも次の如き事情で心細い

鰯粕は九。一八停止令以後は其の縣々で協定價格をつくり縣外への移出を禁じてしまつたから、持てる縣はさまで困りはしないが持たぬ縣は獲得の方法を斷たれてしまつたわけである、

即ち禁止令を出した縣は宮城岩手、青森、北海道、富山、福井の六つを數へてゐる、有機肥料配給會社が出來て二月一日から事業を開始同日以降のものは强制買上をなす一方在庫品の收容をなし統制して割當てる役割をもつのであるが冒頭述べた通り政府の配給割當が決定しない以上その縣の配給具体案が生れぬわけで化定肥料は持つてゐても無機肥料量がわからぬため配合肥料の作成も自然足踏の狀態を免かれない、（完り）

肉の御用命は
三三屋
牛も豚も優良品の自慢

内科、小兒科
大森醫院
入院應需
醫學士 大森 勇
平市南町 電二五八番

食事。
喫茶。
酒場を兼ねた。
レストラン サロン
平市銀座街
電話五九二番
營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より、
閉店…午後十一時限り、

花と茶の
スカーフ
平3銭
電一四〇

肺膜・氣管支・關節・神經痛・筋炎・ロイマチス
扁桃線・中耳炎・骨膜・腰痛ち疾に…
萬能生公精
藥價。九十五錢 二四二十錢 四圓
福島縣平市五丁目角
山野邊藥局

治淋新藥
ナトム六〇七號

新學期
御入學、進級、卒業の御祝には是非必要な實用品を
贈呈用化粧箱入 二圓より 各種調製
◎萬年筆は信用ある專門店へ
岡萬年筆製作所
平市十五丁目（大町通り）

電話…買ひます
電話…賣ります
何れにも有利な御相談に應じます、
平市田町一
五十嵐茂
電話六一六

御婚禮着付
和洋結髮
パーマネント・ウエーブ
何卒御用命の程を
手塚美容院
（徒弟入用）
平市新田町
貸衣裳、貸かつらを御利用下さい

平病院
（平市元共濟病院跡）
（電話六四一番）
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 小兒科 院長 鈴木定藏
内科 一般外科 皮膚泌尿器科 レントゲン科 物理的療法科 副院長 高橋俊幸
院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に從事す（急患は此の限りにあらず）

根本産婦人科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
（入院隨時）

平田町（三丁目裏川岸通）
明華産婦人科醫院
電話六六九番
入院應需（自炊の便あり）